

安全データシート (SDS)

1. 製品及び会社情報

化学品等の名称	真・黒色無双
供給者の会社名	光陽オリेंटジャパン株式会社
住所	埼玉県上尾市東町2-3-2
電話番号	048-783-3341
ファックス番号	048-783-3141
電子メールアドレス	kopro@koyo-orient.co.jp
緊急連絡電話番号	048-676-8970
推奨用途及び使用上の制限	模型用塗料

2. 危険有害性の要約

GHS分類	下記の危険有害性は、分類対象外、分類できない、区分外は記載していません。
物理化学的危険性	分類対象外
健康に対する有害性	
特定標的臓器毒性（単回ばく露）	区分2
特定標的臓器毒性（反復ばく露）	区分2
環境に対する有害性	分類対象外
GHSラベル要素	
絵表示（ピクトグラム）	
注意喚起語	警告
危険有害性情報	臓器（中枢神経系、血液系）の障害のおそれ 長期にわたる、または反復ばく露による臓器（中枢神経系、呼吸器系）の障害のおそれ
注意書き	
安全対策	粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーを吸入しないこと
応急措置	気分が悪い時は、医師の診察/手当を受けること
保管	無し
廃棄	13.廃棄上の注意を参照

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別	混合物
化学名又は一般名	合成樹脂塗料

組成物質名	CAS登録番号	化審法官報公示 整理番号	安衛法官報公示 整理番号	濃度又は濃度範囲
アクリルエマルジョン	-	-	-	10 ~ 20%
C.I. Pigment Black 1	13007-86-8	5-3327	-	20 ~ 30%
プロピレングリコール	57-55-6	2-234	-	3 ~ 5%
水	7732-18-5	-	-	40 ~ 50%
その他	-	-	-	10 ~ 15%

4. 応急措置

吸入した場合	蒸気、ガス等を吸い込んで気分が悪くなった場合には、空気の新鮮な場所へ移動し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。 症状が改善しない場合は、医師に連絡すること。 できるだけ早く医師の診断を受けること。
--------	--

皮膚に付着した場合	<p>付着物を布にて素早く拭き取る。</p> <p>大量の水および石鹸または皮膚用の洗剤を使用して十分に洗い落とす。</p> <p>溶剤、シンナーは使用しないこと。</p> <p>外観に変化が見られたり、刺激・痛みがある場合、気分が悪い場合には、医師の診断を受けること。</p>
眼に入った場合	<p>直ちに大量の清浄な流水にて15分以上洗う。</p> <p>次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。</p> <p>まぶたの裏まで完全に洗うこと。</p> <p>できるだけ早く医師の診断を受けること。</p>
飲み込んだ場合	<p>誤って飲み込んだ場合には、安静にして直ちに医師の診断を受けること。</p> <p>嘔吐物は飲み込ませないこと。</p> <p>医師の指示による以外は無理に吐かせないこと。</p>

5. 火災時の措置

適切な消火剤	水、炭酸ガス、泡、粉末、乾燥砂、その他すべての消火剤
使ってはならない消火剤	情報なし
火災時の特有の危険有害性	情報なし
特有の消火方法	周辺火災に対応して、消火活動を行うこと。
消火活動を行う者の特別な保護具及び予防措置	<p>状況に応じて、呼吸器具を着用する。</p> <p>消火作業は、風上から行うこと。</p>

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置	<p>作業の際には適切な保護具（手袋、保護マスク、エプロン、ゴーグル等）を着用する。</p> <p>周辺を立ち入り禁止にして、関係者以外を近づけないようにして二次災害を防止する。</p>
環境に対する注意事項	河川への排出等により、環境への影響を起さないように注意する。
封じ込め及び浄化の方法及び機材	<p>漏出物は、密閉できる容器に回収し、安全な場所に移す。</p> <p>付着物、廃棄物などは、関係法規に基づいて処置すること。</p> <p>スコップ、ウェス等で回収する。大量の場合には盛土などで流出を防ぐ。</p> <p>水での洗浄なども、河川等への排出、環境汚染を引き起こす恐れもあり注意する。</p>

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い	<p>換気の良い場所で取り扱う。</p> <p>容器はその都度密閉する。</p> <p>皮膚、粘膜、または着衣に触れたり、目に入らぬよう保護具を着用する。</p> <p>取扱後は手、顔等をよく洗い、休憩所等に手袋等の汚染保護具を持ち込まない。</p> <p>80℃以上に加熱すると変色する場合がある。</p>
保管	<p>日光の直射を避ける。</p> <p>通風のよいところに保管する。</p>

8. ばく露防止及び保護措置

組成物質の有害性及び暴露濃度基準										
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>成分名</th> <th>管理濃度</th> <th>ACGIH(TLV)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>プロピレングリコール</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>C.I. Pigment Black 1</td> <td></td> <td>10mg/m³ (シリカゲル)</td> </tr> </tbody> </table>	成分名	管理濃度	ACGIH(TLV)	プロピレングリコール	—	—	C.I. Pigment Black 1		10mg/m ³ (シリカゲル)
成分名	管理濃度	ACGIH(TLV)								
プロピレングリコール	—	—								
C.I. Pigment Black 1		10mg/m ³ (シリカゲル)								
設備対策	<p>スプレー塗装などミストが発生する場合には、排気装置を付けること。</p> <p>屋内塗装作業の場合は、自動塗装機等を使用する等作業者が直接暴露されないような設備とするか、局所排気装置等により作業者が暴露から避けられるような設備とする。</p>									
保護具	<p>呼吸用保護具 有害性物質に対して適切な保護の出来る保護マスクを着用する。</p> <p>手の保護具 有機溶剤、または化学薬品が浸透しない材質の手袋を着用する。</p> <p>眼、顔面の保護具 取り扱いには保護メガネを着用すること。</p> <p>皮膚及び身体の保護具 取り扱い場合には、皮膚を直接曝させないような衣類を着けること。また化学薬品が浸透しない材質であることが望ましい。</p>									

9. 物理的及び化学的性質				
物理的状态				
物理状态	液体			
色	黒			
臭い	僅かなアクリル臭			
融点・凝固点	データなし			
沸点又は初留点及び沸点範囲	水100°C			
爆発下限界及び爆発上限界／可燃限界	データなし			
引火点	データなし			
自然発火点	データなし			
分解温度	データなし			
pH	8.0～9.0			
溶解度	水に可溶			
n-オクタノール／水分配係数 (log値)	データなし			
蒸気圧	データなし			
密度 (比重)	1.11～1.13			
10. 安定性及び反応性				
化学的安定性	通常の使用では安定			
避けるべき条件	高温、直射日光の当たる場所			
混触危険物質	酸化性物質と反応する。			
危険有害な分解生成物	このものは燃えないが塗膜等が燃えた場合、CO、NOx、ハロゲンガスなど有害ガスを発生する恐れがある。			
11. 有害性情報				
	急性毒性			発ガン性 (IARC)
成分名	経口(mg/kg)	経皮(mg/kg)	吸入：蒸気(mg/L)	
プロピレングリコール	ラット:20000	ラビット:20800	—	
C.I. Pigment Black 1	ラット:2000	—	—	
※ 有害性情報は化学物質固有のデータであり、混合物としてのデータはありません。				
12. 環境影響情報				
成分名	水性環境有害性 (急性)	水性環境有害性 (慢性)		
プロピレングリコール	区分に該当しない	区分に該当しない		
C.I. Pigment Black 1	区分に該当しない	区分に該当しない		
※ 有害性情報は化学物質固有のデータであり、混合物としてのデータはありません。				
13. 廃棄上の注意				
<p>廃塗料、容器等の廃棄物は、法律に従って処理を行うか、処理を委託すること。</p> <p>容器、機器装置等を洗浄した排水等は、地面や排水溝へそのまま流さないこと。</p> <p>廃棄物等を焼却処理する場合には、有害ガスを発生する為、洗浄設備の無い焼却炉を使用しないこと。</p> <p>排水処理、燃却等により発生した廃棄物についても、廃棄物の処理及び清掃に関する法律及び関係する法律に従って処理を行うか、処理を委託すること。</p>				
14. 輸送上の注意				
国際規制				
国連番号	非該当 この製品は、国連の勧告の下での危険物には該当しません。			
国内規制				
海上規制情報	特段の規制なし(非危険物)			
航空規制情報	特段の規制なし(非危険物)			
陸上規制情報	特段の規制なし(非危険物)			
その他				
<p>取り扱い及び保管上の注意の項の一般的注意に従う。</p> <p>容器に漏れないことを確かめ、転倒、落下、損傷がないように積み込み、荷崩れ防止を確実にすること。</p>				

15. 適用法令

労働安全衛生法	名称等を通知すべき有害物（法第五十七条の二 施行令第18条の2別表第9） プロピレングリコール
化学物質排出把握管理促進法（PRTR法）	非該当
毒物及び劇物取締法	非該当
消防法	非危険物

16. その他の情報

[注意] 本SDSはJIS Z7253:2019 に準拠して作成しています。

危険・有害性の評価は現時点で入手できる資料、情報、データに基づき作成していますが、全ての情報を網羅したのではなく、新たな情報を入手した場合には追加、修正を行い改訂いたします。

本記載内容は情報提供であり、保証するものではありません。

すべての化学製品には未知の危険性・有害性があるため、取扱いには細心の注意が必要です。

ご使用者各位の責任において、安全な使用条件を設定くださるようお願い申し上げます。